



特別
子12
3643
71(18)



江口
芭蕉
井筒
野宮
宋女

故
梅若敏印
昭昭手書
梅若車印
寄贈
田村圖書

江口



一面

源井
若女

一着附箔前後

一上着唐織

一髪前後

前後

一髪前後

一黒前後骨丸紅髪前後扇

一三ッ襟

後
一面

如前

一唐織坪折

一緋大口

一腰帯

連六
一面

一着附箔
一上着唐織
一髪

○棹サシノ方唐織又キサゲニモスル以時棹右ニ持

一以所ニ事ナルヘシト幕上ロキヲ見テナフト諺

一 ^{ワキ}不思議ヤナト 平身テ歩ミ出 一 又思ヒソム言ノ葉ト

ワキ向足トメ 一 州ノ陰ノト正面 一 其形ヲモトワキハ

一 曼ト頭ハレトニ足ツメ 一 ^{ワキ}心得ズト 平身テ行

一 詠シモセサセトワキハ 一 ^{ワキ}美其返ノト出ミ出

此合次第舞臺入シテ柱ノ先ニテトメ

一 トメ系ラセヌモトワキハ 一 更形ナリト正面

一 捨人ヲ思フトワキハ 一 言ノ葉ハトニ足ツメ

一 惜ムコソト正面 一 ナトヤ惜ムト ^{右ウケテモウケナシ友用}

一 帰ラヌト正面出テ用 一 捨人ノトワキハ向

一 心ナトメトニ足ツメ 亦切ニ正面

一 江口ノ流ノトワキハ 一 君トヤ思ヘント用 ^{〇用ナレモ恥カレヤト面ウケテテ正面}

一 扱ハ疑ヒト ^{正面}出カケ角トリ 一 仮ニスミコシト左廻リ

一 思ヒノ外ニト大鼓ノ前ニテ正面用 一 君カキセルヤト

右ウケ 一 又ハ一河ノト四五足斗出 一 汲テモト

左ニテサシ早ハ向テ出 一 江口ノ君ノト用右廻リ

シテ柱ノキワニテ正面ハ用返シニ 中入

一 間語

待謡游一セイ笛ヒシキヲ受テ後見舟作物ニ掉ソソエ

幕上
持出シテ柱ノ先へ舟ヲ置 棹ヲ持テ後足産へ引

一 後
一セイ本越ツテ幕ヨリ右ヲウケ正面ヲ見テ舟ヲ進

出ルツレシテツレト出 先ツレ舟ノドクノ間ヨリ入テ

へサキ江乘シテハ並ミトウノ間ニ乗 跡ノ棹サシツレハ

トモ江乘イツレモ並ニ正面向 後見棹ヲ持出棹サシツ
ツレノ左へ棹ヲ持セル

一 舟ノ上ト袈ナリト面ヲウムケテニ足クツロケル

一 ヨシヤ芳野ト面ヲ上何支ナクニ足出ル

一月ノ夜舟ヲトワキへ 一 ツモヤ江口ト正面

一 水邊セヨ月ハトワキへ 一 我等モ加板ニト正面

連

一 我ヲモ加板ニトエナカラワキへ イハシヤ皮ト

正面

一 ヨシク何カトトワキへ 一 ムツカシヤト正面

一月モ彩サスト右ヲウケトヲ面をイ見廻シ

一 棹ノ身ト何支ナク面ト一ウメハヤト輕ク左トリ

トモノツレヲ左ノ身ニテサシ又ウメヘトおノツレヲ右ニテ

サシ 一 袈昔ノト左トリ舟ヨリ出中へ行正面

向イサヤ獲ハント床ルニ腰カケル

連

一 棹サシツレシテノ舟ヨリ出ル時棹ニ右ノ身ヲ

カケル 先ノツレモシテノ誦ヨリ左トリ以前兼

久し時ノ如ク舟ヨリ出ルト俾サシ俾ヲ捨舟ヨリ後見直ニル

出ニ人ナカラ笛ノ上地端カニ行正面角カケテ

向並ヒテトニ居クリノ打掛ニ後見舟ヲ幕入

一思ヒヤルコソト左ニテシホル又面ウツケテモ

一夕ノ風ニサソレト床ルヨリ立 一紅葉ノ秋ノト正ニ出

行カリ 一黄纈纈ノトサシニハシ用

一色ヲフツムトト左右シテ正ニ舳ヲ並シ 一ウツロフトスル

踊フム 一カ切ノウチニニ重シ 一言葉ヲカハスヒシ

カクモト 正面へ出足トメ右ニテ 一太テ来ルトニ足ツメ右ヨリ

一翠帳トニ重シト下トリ 一枕ヲ並シト扇ニテ頭ヲ

カシ 一イツノ世ニカハトアトヘニナシ 一隔ツラシ扇カス心

踊フミ 一凡ト出カケ角トリ 一惜アルト左ニ廻リ

一カクハ思ヒト申ニテ正面へ向サシ扇ヒロケケ面ニカサシ

一浅カラスト開テ扇上 一又アル時ト左右ノヨリ

出シ先左ヲメテ、左ニ行 一色ヲキト踊フミ

一愛執ノト右ヲヨリシテ右ニ行 一妾舌ノ縁トト

正面先へサシ開 一妾マ皆人トサシテ正ニ出

一六塵ノト半開ノマウニ右廻リシテ柱ヨリ

一六根ノトサシテ行角トリ扇カサシ足トメズ左廻リ

一迷フ心ト大小前ニテワキ向ニ足ツメテトメ

一面白ヤト右トリシテ柱ヘツツキナカラ扇タミ正面

向左右左ト足出 席ノ舞五段

一舞ノトメ扇面ニカサシ実相ト漏 一フカ子トモト

扇止 一隨縁ト左右ニテ出右へ行カリ

○左右ニテ出廻リニサシ用テモ 隨縁ト左右へ行時サシ扇ヲ廻リ右行カリ

一タヌ日モナシト 踊フミアトニ足引テサ込開

一波ノ立居モト少出小角トリ左廻リ 一仮ナル宿ニ

○板ノト大鼓前テ踊フミサ込開テモ

大鼓前ニテ正面 一心トメスハト正出

一人ヲモト開 一待クレモトサシ角トリ扇カサシテ

一別路モ流ト角ノ上ヲ扇ヲサシ見流フクト並左

カコソ小ツ廻リ 一花ヨ紅葉ヨトサシ分シテ右廻リ

シテ柱ノ所ニテ正面向 一荒ヨシヤト支手折合

○荒ヨシヤト左ニテ膝ノタタリヲサシテモ

一思ハト其ノヲトケ正面向 一思ヘハカ叫ノヤサシト

返ニ踊フミ 一心トムナトトワキ胸サシニテ出

一イサメシト開下ニ居立 一曼延ナリヤト面ヲムムケテ

○イサメシトヲ用下ニ居

正面向テ立正面向先へ出 一菩薩トアラレトユウ

○左邊ト右トメ右ヨリ足出ユケシテモ 又ユケシナレニ足出テモ
ケシノ扇ツシテ開 一舟ハトサシ右方舟ノリカ

所ヲ見 一光リト共ニト角トリ足ト左廻リ

半ノ前ノ所ニテシテ柱ノ方向 一白雲ト前ノ下見

扇ヲツミヨリサ込マウニ前へ平ラニ出シ 一打衆ト

踊ニツフミ其扇ヲ氣ト共ニ上へ門とテ扇ヲノケシテ

柱へ行ナカラ扇折返シテ右ニ要ヲキリ腰ノアタリへ

ツケ 一覺ユルト正面へ開返ニ右ツケニ足出踊

ニツフミテトメ扇ヲ垂シタミテ入

オホユレおほ

芭蕉

一面

深井

一着附流前後

一上着色シ唐織

一髪前後

一髪色シ前後 一本葉持

一三ッ襟

一面後

如前

一長絹色鬼

一大口青

一色ナシ髪扇

一腰色帯

○長絹青ハ大口色タレシ

一次才二段色テ幕上出

右ノ身ヲ腰ニツケ
左ニ本ノ葉ヲ持

舞臺入シテ柱ノ先ニ足トメ大鼓ノ方ヘ向左右左ト

ニ足出次才色溜地トリニ正面

一フリ行末ツ叙ナルト面ヲツケニ足クツケル

一衣ナルモト面也シ 一ウツルモ返ルト左右下出正へ少出ト

居チカラヲ出シ足テ立木ノ葉下ニ置 一衣昔ノト立正へハキリテ

返ニ右トリクツキ元ノ所ニテ正面向

一爰ハバアタリト足ヲ合セテトテモ姿ヲト正面

一落ノ間ナリト足ヲ合セテ一結縁ニカサセトニ足出

一其ノ法ノト正面 一其心得ハト足ヲ合セテ

一樹ノ陰ノトニ足 一オシマシト正面
森ノ宿ノ末切ニ後見本葉ト

一軒モカキホモト右ヲツケ 一ウレヒハト正面

一塊ハ山行ノト静ニ出カケ 一月ノ影モト用

一誰カイヒシト右ツケ 一錦帳ノト正面

一口サシト静ニタラシトアトヘシカリ

一艸ト菴ノウチト躰ヲカシニチリ面斗テ足ヲ合セテ方ヲ足

一餘リニ志ト正面 一サハ内へ系リト足ヲ合セテ方へ向

ニ足出爰テ足ヲ合セテワキノ姿ヲ見テ中へ行下ニ居テアラ

右獲ヤト湯 一藥艸喻品ト正面

一嶺ノ荒ヤト足ヲ合セテ 一燈ヲト正面

一草木モ成佛ノト足ヲ合セテ 一打切ト正面

一今値カキ法ヲウルトワキへ 一実値カキト 正面

一受ル身ヲヤト 足へ 一恥カシヤト 面ウツムケテ 正面

向テ五 一 道サヤカニモト 右ノ下ヲ 面モイ 足廻シ

一 照月ノト 右トヨ 足 一 影ハト 右ヘツツキシテ 柱ニテ

正面 向 一 イツワレニ 姿ノト 静ニ 正へ 出カケ

一 寔ヲ 足ヘハイカナラシト 正面ハツキリトシテ 足トメ

一 思ヘハ 鐘ノ聲ト 心ヲ内ヘトリ 面モサゲ 誦ヘタラシト

シサリテトメ 返ニ面ヲ 垂シ 中入

後

一セイ 奉越サテ 幕上 右ヲウケ 平身ニテ 步行 出舞

且 堂へ入シテ 柱ノ 先ニテ 足トメ 溜

一 有難ヤト 心ヲハツキリト 一 病ノ 意ニシト ワキへ

一 人衣ノ 姿ト 余情ヲシテ 定一カハカリハト 正面

一 芭蕉ノ 流ノト 踊ニツフミ 正へ 出左^{扇上ヨリ} 兼 踊ニツフミ

一 庭ノ モセト 垂ミ 右ヲウケト 面モイ 足廻シ

一 山陰ノ ミト 正面 向 面ヲサケ 誦ヘタラシト シサリ 足トメ

一 寔ヲ 示シハト 面モイ 一 イヤ人トハト ワキへ

一 ツモヤト 正面 一 其内不審ハト ワキへ

一 土草本モト 正面
一 オノツカラナルト 口へ

一 女トテトニ足ツメ
一 サナキタニト 正面向テ出カケ

一 芭蕉ノト 足トメ 右ノ手ニテ長絹ノ左ノ袖ニテ持左ノ

身ヲ袖ノ内ニテ廻シ神前ヘヒロケテテマノ前ヘ行

一 袖ノト 手ト袖ヲ曳 右ニテ手トメホコロヒモト 別ニ右ノ

ニ足出テマヲ曳 一 恥カシヤト 面ウツムケテモ

左右ヘトケ 正面ヘニ足ウツケル

一 打掛ニ右ヘトリウツキシテ柱ノ所ヨリ左ヘトリ大ノ前ヘ

行 正面向

一 諸法冥相ト 口へ
一 打切ニ 正面

一 花本ハマタト 踊
一 春ニ逢コトト 正出カケ

一 其理リモト 用
一 実目ノ前ニト 左ヲウケテ

出右ノ廻リ中ニテ
一 音信ハト 正へ行カリ

一 庭ノト サシ廻シ曳テ用
一 マツヨキト 左右シテ

正面ヘ舁ヲ曳シ
一 シラスナリト ス正拍子

フミチ切ニニギリ
一 身ハ古寺ト 正舁ヲ曳シ

一 忍フトスレトト 角ヲトリ
一 芭蕉葉ノト 左ノ廻リ

一 ヨモキカモトト 中ニテ左右折込 扇ヒロケ面ニカサシ

一 定ナキト開テ扇上 一 世ハ芭蕉ハト左右ノ

ヲ定メテ、左へ行 一 夢ノワキニト踊一ツフニ

一 小鹿ノト右ヲ言シテ右へ行 一 鬻キアへヌ人心ト 正面

先へ歩込用 一 唯月ヒトリト左、身ヲ引

右ノ身ヲおへおし出シ 正面ノ上ヲ見テお出用

一 馴ヌト右へ廻リ 一 起外シケキトシテ柱際ヨリ

サシテ行角トリ扇カサシ足トメズ左へ廻リ大小お

ニテ耳へ向ニ足ツメ 一 今月ハト 正面

一 氷ノト右トリ扇メニナカラシテ柱へクッロキ 正面向

左右右ト出 序ノ舞

一 舞ノトメ扇面ニカサシ霜ノト謡

一 ヌカヲシト引テ扇上 一 卓ノト左右ニテ出○アトニ定リま出キト出用

其身ヲ正面へ直シ久蟻ノト謡 一 返ニ正出カケ

一 天津乙女ト用 一 足モ芭蕉ノト角トリ

一 羽袖ヲト左ノ袖頭ニカッキ 一 返ニ袂ト左へ廻リ

袖ヲ直シ大小前ニテ高 一 瓜ハウケト左ヲ引友

ニテアヲキナカラシ出 一 物スコキト用

一 庭ノアサチウト 正面トヲサシ廻シ用面をイ見廻シ

一面影ウツロフト右廻リ大小ノ前ニテ

一山尻ト右ウケ扇ヲ上ヨリ正ツカクト出松ノ尻ト

前へ扇ヲヨロシ足トメ 一吹ハライトサシ。解ッて上
テアトへ
タラクトレハル

タラクトシナカラ扇モ上ルヤウニシテ右へ下ケ

一返ノ吹ハラヒト左右手ヲおへヨセテ用ナカラ左右へ

クハラリトノケ 一花モトサシテ静ニ右へ大

廻リシテ柱際ニテ 一散々ニナハト正へ用

一芭蕉ハ破レテ左袖返シ右ウケニ足出躰ニツフニ

袖モトシ扇タミ入 残。リケリ

井筒

一面

若女
深井

一着附滴前後

一上着唐織

一髻前後

一髻前後

一襟

一數珠右持

一本ノ葉左持

本地ノ水桶ニ水ヲ入テ右ニ持テモ 以時數珠ナリ
又左ニ水桶ニ水ヲ入テ右ニ持テモ 水晶小シテ
銀ノ水桶ニテモ

一後

如前

一腰巻縫滴

一長緋

一腰帯

一冠後掛

一黒骨髻雙扇

太刀ハキテモ

囃子方地謡座付テ作物井筒左ノ方前ノ角ニ落テ造花ヲ立
後見人ヲ持出シ面ノ先ニ置

○造花ノ落立テ知ル有之也

一次序ニ段出テ出

右ノ手腰ニツケル

舞臺入シテ柱ノ先ニ足トメ大鼓ノ方向ニ足出テ次第

一 地トリ正面
○ 道ニキタヘトニ足ツメテモ 切ニ足ツメル
○ 人ニ残ル世中ト面ヲサケ足ツメテモ

一 秋ノ夜ト右ウケ
一 松ノ色ノミト吹ナカラ正面

一 定メナキセト 更ニ出下ニ居ナカラ本葉ヲ見テ下ニ
○ 詠ハセ方ト右ニ廻シテウケ 松ノ色ノミト面ヲサケウケ吹ナカラ正面
○ 吹ハイツクト正ラハツキリトシテ也

置
一 何ノ音方ト 正面
○ 吹ナカラ所

返ニ立右トリクツキ正面向

一 是ハバアタリトウキヘ
一 カレハ其跡ト正面

一 是尤塚ノト見付柱 吹ナカラウキ見

一 ワラハモトウキヘ
一 是と紫平ノト正面

一 故アル身カトウキヘ
一 心仰ハト正面

一 吹ハクチヌトウキヘ
一 首男トニ足ツメ

一 名バカリハト 正面
一 松モ巻タルト 正面へ出カケ

一 是社夫ヨト作物へ向落ヲ見テ吹シ出
○ 吹ナカラ所

一 一村スキト開
一 穂ニ出ルト 落ヲ見上ル
○ 一村スキト開カニ足ツメ落ヲ見上ル

一 草花トシテト 右ウケトヲ面ニイテ見

一 露深トトト 更ニ
一 去ナカト 左ニ廻リテ

柱ノ所ニテ 氣及カト 正面向トメ 返ニ解ツトクト吹ス
○ 吹ナカラ所

一 物語ハトウキ 門ノホニウキヘ向中へ行下ニ居正面向

曲ノ前 曲ノ中 上ノ前 曲ノトメ ウキヘ向

ヲ垂テ筒井ツト謡 一返シヨリ正出ナカラ扇ヲ

○ツク井筒ト謡 井筒ニカケシト出ナカラマロカケト扇持タルヲ
ハシテ扇ヲ垂ラシテトヨリ上アヲキ上ルマヲニツク足トメ先ニケ
ツクニ井筒ニカケシト右ニテチヨトメ

ラシトア上開又開カズモナカラトサシ分ナニ角ト列ヲ
モ列ヲ

一マロカケト右ヨリ正出ナカラツクニタニ扇ヲ

上ニ 扇ノ表ヲ平ニ 正面ニ見セルニ 一巻ニケラシト扇下ケ持

垂シナカラア上開 一サナカラ見ヘシトサシ分

○サナカラトサシ分セズ角行テモ

シテ行角トリ正角扇カサスヤウニ扇ト上アケテ扇ヲ

サシ 一垂衣ハト左廻リ大少ノ前

ニテ正へ向 一業平ノ面敷ト井筒ノ際へ

○業平ノ面敷ト井筒キウ行左ノ仕形セズ唯井筒中ヲ覗キテモ
行左ノ仕形ヲ左ノ手カケ押ヘルヤ
シテ脚ヲ延シ井筒ノ中ヲノク又左ノ足トヒギトヲ井筒ト上

ノセテ下ニ居立中ヲノゾクモアリ

以時節ヲ押分ル仕形シテモ又セズモ 但落左ノ付名時事也

ノゾキ見レハナツカシヤト謡

○落右ノ角ニ立名時押分ル仕形セズ又下ニ居立テモ

一秋ナカラナツカシヤト 跡ヘタラトシサリナカラシホリ

一亡婦トナツカシヤト 大鞍ノ前ノアタリニテ正へ向

○亡婦トシホリナツカシヤト右トリノツクマヲニテ正へ向テモ

一シホメ花ノト女ノ手ヲ頭ノ上ヘアゲテヨセ心モ内へ

○シホメ花ノト女ノ手ヲ頭ノ上ヘアゲテヨセ心モ内へ

トリ面モサゲ右ヘガシウケテトニ居立

一残りテト友手ヲバラトツロシ面ヲエケ立

一寺ノ邊モト面ウツケテ滝ヲ受 左耳ニテ

一ホノホトト 踊ツフミ 一明レハト 東ノ上ヲ見

雲ノ扇ヲモスル

一松肌ヤトサシテ右ノ廻リシテ柱ノ方へ向右ヲウケテ

○松肌ヤトサシテ右ノ廻リ扇折返シテ右ニ持シテ柱ニテ向開テモ

又拍子ニツテノリヨミ扇ヲリカシテ向ヘ開テモ

シテ柱ノ所へ乗込 踊ニツフニ右ヘトリテ正面へ開

一 夢モヤフレテト左ノ袖カエシ右ヲケニ足出 踊ニツフニ

トメ 袖モトシ扇タメニ入 アケニケリ

○マロカタケト出ナカラアヲキエヤウニツシテ老ニケ
ラシナト扇ノキヲ下ケ 老ニケルツヤト左ニテサレヤ
前へ行左ヲフニ也左ノ袖ヲカエシ 昔男ノト左ノ身ヲ引
ワキヲ足 扇ト扇ヲカサスヤウニ上ケテ扇ヲフニ也左ノ廻
海常 如曼替ニスル

野宮

一面 増

- 一 着附扇 前後
- 一 上着唐織
- 一 髪 前後
- 一 髪帯 前後
- 一 黒骨髪扇 前後
- 一 之襟
- 一 本葉左持

一面 前後 如前

- 一 長絹
- 一 緋大口
- 一 腰帯

雑子方地函座付テ鳥居ノ作物後此一人ニテ持出
正面ノ先ニ置

一次才ニ股皮テ幕ヲ上出 右ノ子腰ニツケ
左ノ本葉持

舞臺入シテ柱ノ先ニテ足トメ大鼓ノ方へ向左右左下出

次才満 地トリニ正面向

一 草衣ト切ヨリ右ヲケ 一行カモコト左右左ト出

返ニ正、身ヲ並ス 一イカナル者ソトトワキヘ

一 然レトモト正面向 一 來リ給フハトワキヘ

一 トクノ啼リトニ足ツ名 一 イヤノ足ハト正面向

一 光源氏ト所トワキヘ 一 神垣ハト正面向

一 讀給シモトワキヘ 一 美面白キト正面向

一 首ニカハラヌトワキヘ 一 紅葉カチリトニ足ツメ

一 ウラ枯ト正面向カズ並ニ作物ノキワヘ行本ノ葉

○ 基輪キ作物ノ時、鳥居ノ前ハ本ノ葉ヲリ
ヲ此ナカラ下ニ居立 作物基輪ノ中へ本ノ葉ヲ置

打切ヨリ返シアタリテ立 一 滝ナツカシキト正面向

一 其長月ノト右トトリクツワキ中ニテ

一 ケフニメクリトワキヘ 一 物ハカナシヤ小葉垣ト

正面向作物垣ノ所ヲ面キ、足ナカラ出足トメ

一 イト假初ノト正面向ツル 一 今モヒタキヤト正面向

カシ右ノ方ウケ開向ヲ見 一 光リハト右廻リシテ柱ノ

キワミテ 一 荒サヒシト正面向開返ニ

○ 荒サヒシニ取ト正面向トメ返ニ解ラトクト取ス
一 山物語トトワキ、初末ニ

一 軍へ向中へ行下る 正面
後此本葉トル

一 曲ノ前 曲ノ中 上ノ前 曲ノトメ 軍へ向

一 ナキ身ツト留セト 軍へ 一 ナキ身ト歩ハト 正面

一 御息所ハト 軍へ 一 夕暮ノ秋ノ風ト正へ 並テ

○ 夕暮ノ秋ノ風ト正へ 林木間ノ夕月夜ト右方ヲケ此廻ニ面キイ
右トリノソク
立右トリノソクニテ柱ノ際ニテ正へ向

一 黒木ノ鳥飛ノト正へハツキリトニ足出

○ 黒木ノ鳥飛ノト正へハツキリトニ足出
心ヲ内ト下リ面モサケテ用返ニ面ヲ上
立隠レテト心ヲ内ト下リ面モサケテ用返ニ面ヲ上

中入

一 間語

● 後モイトメ様ノ支右ノ足ニテテヨト後メ足モト心ヲ
付目サケケ別ニ目ヲ上右ヨリニ足出テトメル車ニ乗
心ナリ 小治モ車不出時は心得不感カ

後
一 一セイ本越字テ幕上右ウケ正面ヲ見 身ヲ並ニ歩行

出舞臺へ入シテ柱ノ先ニテトメ 脚ノ末ト 端

一 メクリ來ニケリトニ足出ル 一 イカナル車トト 軍へ

一 思ヒ出タリト 正面 一 主ハ誰トモト 軍へ

一 所セキミテト 正面 一 珠ニ時メクト 軍へ

一 御車トテト 正面 一 ナシト答ヘテト 軍へ

一 ハツト奇リテト 脇ニ面ウケテ面キイ此廻シ

一人々ナカニトリツキツト扇ヲ上ヨリウチコム柄ニシテ正面

へ出其扇ノ上へ左ヲフミ左ノ袖返シテノセ也カニ柄ニ

一ヒト夕ニ井ノト左ヲワケルマウニ足ヲチヨトニテリ也ニ也

一オシヤラレテトアトヘジタリクニタラクトシサリテイウ

引 一身ノ程ソト左ニテシホリ

一ヨシヤ思へハトシホリキツトケガシ出角トリ

一報ヒノト左へ廻リ 一廻リくト大少前ニテ也

向サニ也ニ左へ少廻リアトハ小ヨリ也

一安執ヲトワキ向舞ニテトニ居立

一背ヲ思フト手ヲトケ正面向テ立

一月ニト返スト右トリシテ柱ヘクツロキ正へ向左右左ト

ニ足出席ノ舞 五段

一舞ノトメ扇面ニカサシ舞ノ上ト舞

一強サヒシリモト左右ニテ出 一モリノ下露ト踊ニウ

フミアトハサ込用舞ヲ返シ身ノ置モト舞

一庭ノ夕住居トサシテ正へ出サレ付

一ヨソニワカハルト其ノウサケ右ノ方ウケ也廻シ面をイ

一氣多モカリナルト作物へ胸サシシテ小榮垣下側行

一 落ウチト扇ニアオグ様ニツシテ拂ヒト扇持ル

ユビ先ヲ延シ扇ヲ横ニ左ノ方ヨリ右ノケルヤウハラヒ

一 トハレシ我モト正へ向跡へ吹シシサリ

一 唯夢ノ世トサシテ行小廻リ角トリ足トメス

一 誰松虫音ト波ナカラ左へ廻リ大小ノ前ニテ正へ

一 風荒クタルト作物へ向ヌノ世ニテアヲキナカラ作物

前へ行右ニテトメ 一 夜スカラトイヲ下ケ右ヨリ定出正面

ヲ見ヤリ 一 ナツカシヤトシホリナカラ跡へ

シサリチ足トメ 破ノ舞 笛ナツカシヤヨリイ豆吹

○ 破ノ舞 笛イ豆ヲ地ニ垂シテシホリノ手ヲサケ歩

行角トリ足トメ左へ廻リ地頭ニカケワキノ前ヨリシテ柱ノ方へ向

サシテ行大鼓ノおアタリと行サシ付 扇カサシ左へ

小廻リ大小ノおアテアトへ小廻リ左右折込ホウシキヒヨシヤクヒ用トメ

一 爰ハモトヨリト作物へ胸サシ○ 替トメノヲヤチヲシキヒヨシヤクヒト左右ニテ左ヲ引扇ヲ胸へアテヒト
正面作物へカサシシハハト福おん

一 神風ヤト作物ノキワへ行鳥居ノ左柱ヲ左ノ世ニテ持

一出ト左ノ足ヲ臺梯ノ内へ手ヨト入レ

一 入ルト世ニ左ノ足ヲ引テアトへ吹シ足ヲソッロケシカレ

一 生死ノト角トリ足トメ左へ廻リワキノ前ニテシテ柱ノ

方(向)

一又車ニト前ノトヲ見テ扇ヲ

ツミヨリサダヤウニ前へ平ラシテ出シ

一ウチノリテト踵ニツフニ其扇ヲ氣ト共ニ上へ引上テ

扇ヲノケシテ柱ノキワへ行ナカラ扇ヲリカエシテ

右ニ要ヲキギリ腰ノアタリニ付

一出ヌラント正(用)返^袖ニ右ウケニ足出踵ニツフニトメ

扇ヲ垂シタミ入

火宅ノカト

宋女

一面

増深井

一着附落前後

一着唐織前後

一髪前後

一黒骨髪前後

一三ッ襟

一本葉左持

一面後

一前

一長絹

一緋大口

一腰帯

一次才二段空テ幕ヨ上出

右手ヲ腰ニ付
左ニ本ノ葉ヲ持

舞臺ハ入シテ柱ノ先ニテ足トメ大鞆ノ方向左右左下

三足出次才謡 地トリニ正面

○シク物ナクヤ思スラント面サケルニ足カケル事モアリ

○花の陰の宮アリト足ツメテモ 切ニ足ツケル

一ツモル櫻ノ意ノ庭 右ウケモ 一打切正面

一花ヲタレタルト 正へ出下ニ辰十カラ本ノ葉ヲ見テ

下ニ置テ立 一氣多哉ト云フハツキリ見

返ニ右トリクツキ正向

一以方ノ事ニテハカト 早へ 一足中セト 正面

一借ハ當社ト 早へ向 一由物語へト 早ノ行ヲ受

正面向テ柿ト 謡 一此春日山本ノ意ニ 呈

一サレハ山ト 正面 一程ナク加極テ 早へ向テモ

一サレハ神ノト 正面 一諸願成就ヲ 早へ

一サレハ慈恵万行ト 正面 一春日ノ里ト 早へ

一陰頼ト 正面 一神木ト 思石ト 早へ

一アタニ思ヒト 二足ヲ 一打切 正面

一治ニル國ハト 右ヲサケ 一アメハコキト 正面
アラカチ其初メキ切ニ後此本葉

一花ヒラケト 正面へ出 一佛法流布ト 用

一打切ニ 正へ 脚ヲ 見 一妙法華經ヲ 早へ

一今ハ象生ヲ 正面へ向カシ出

一以山ニ住給ハト 正面先ノ中向ヲ 見

一之堂ノ山ヲ 早へ 一極善授樹ノト 右ウケ

○妙法華經ヲ 説給ス 正面向先ニ居 大明神ト 顯シト 正ニ足出 以山ニ住ト 正面向ヲ 見

一 松と花ヲト面をイ見テ出

一 長閑キ陰ハト左廻リシテ柱ノ所ニテオトラメヤト

○ 長閑キ陰ハト右トリシテ柱ノ所ニテ
正向トメ返シノ末ニ只向イカニヤト 謠

一 以方ハ出ルヘト右ウケカシ出脇正面ノ下ヲ見テ

○ 以方ハ出ルヘト右向テ出正面向足トメ正面見テ是ヨリ強ク是ニ
一 是社猿沢池ト只ハ 一 安閑ノ事ト正面

一 是ハ昔ト只ハ 一 サレハ天ノ帝ノト正面

一 演ル身ノ等ト只ハ 一 実ニ以身ハト正面

○ 昔天ノ帝在時ニト只ハ 初メ殿庭ト只ハ
一 以池ニ身ヲ投ト只ハ 一 実ニ我モト正面

○ 宋女カ死骸ヲ 非特聖ノカニシト以ニ夕ニ向カシ
一 タシクハ唇ト只ハ 一 只モコカト正面

一 見ルソ悲シキト正ソウ出 一 泰ナヤナト開

○ 内情ト足トメ泰ナヤナト左ニテホリ君ヲトホリカエ
一 君ヲ恨ミシト シホリ 一 夕トハトシホリ花々サケ

面モトケ 一 水ノ月トルト右ト下見テ

○ 水ノ月トルト脇面ノ下ヲ面ツカヒ
女ニ出足トメ 一 イケル身トト左ニテサシ

只ハ向テ出開 一 幽冥トテト右廻リシテ

柱ノキワテ正ノ開面サケ心内ヘトリ返ニ面ヲ垂シ

中入

一 間語

後
一 七イ奉越步テ幕上右ウケ見テ躰ヲ垂シ步行出

舞臺入シテ柱ノ先ニテトメ有難ヤト諷

一池ノ蓮ノト早へ 一能ノ吊ヒトニ足ツ花

一不思談ヤト正面 一愧カシカラト早へ

一モトヨリモト正面 一水ノ底ナルト早へ

一悉皆成佛トニ足ツメ 一マシテヤト正面向テ出

一歌モ早ト用 一変成ト左テカン早方

行左ヲフミ区左ノ袖カシ左ノ身ヲ引ワキヲシカト思

一シカモ取ハト袖モトシ正面へ解ヲ垂

一南ノ岸ニト左廻リシテ柱ノキワニテ

一生レシ事モト早向用返ニワキ向步掛ニ左トリ

大少前へ行正面向

一世モツテ類ヒト早向ニ足出ル 打切ニ正面

一マウケナトシタリケレトト 踊 一猶シモオヤラシト静ニ出

一宋女ナリケルト用 一女ノカハテケトリシ言

葉ノト 踊フミ 一落ノ情ニト左右ニテ正

一ハナハシトス正踊ニツフミ 一打切ニ言引

一サハ浅香山ト角トリ 一陰サハ見ユルトトヲ見

一浅久人ヲト左廻リ 一凡モ浴マリト中ニテ正面

○サハ浅香山ト正面先出左ニテ留 陰サハ見ユルト左ヲ引下ツ見テモ 櫻川モ同意ニ

サシ廻シ高ク是テ用 一安全ヲト打込扇面ニカサシ

一戲レノト用テ扇上 一多音ニウツルト左右ノキツ

先々テ左行 一雲ノ袖ト踊フニ

一影モト右ヨリテ右行 一宋女ノ衣ノト正面走サ込用

一大宮人ノトサシテ角トリ 一櫻ヲカサスト扇カサシ顔ヲ

左廻リ大小前ニテ正向 一舞ヲ曲。拍子ソソロハ。

モトト踊フニ左右余情シテ少廻リ左右シテ正向 切正面

○杖ヲト左ノ袖頭ニカツキ左廻ル事モアリ

一有明ノ月ニテ右ヲウケ 一山ホトキスト右上ヲ見

○有明ノ月ト扇ヲ右ノ肩ノアタリ上右上ヲ見

一観感ヲウケテ正向 一月ニト右トリ扇タニテ切

シテ柱クツロキ正向左右左下出席舞五段

舞ノトメ扇面ニカサシ月ニテケト謡

一ホトキスト引テ扇上 一天津ワラ子ト左右ニテ出席下ノ引テ

一萬代ト小角ヲトリ左廻リ大小前ニテ右ヲウケ

一ナツトモト踊ニツフミテ正向サ込用其身ヲ正向正向シテ

松ノ葉ト謡 一散ウセスシテト正向出

一正本ノカウラト用 一鳥ノ跡ト右廻リ大小サ込テ

○正本善ナカクシタリト用 天地穂カ下左袖カニサシテ右回り太木サ込行 跡同様

一四海波ト左右サ込用正向サ込猿澤ノト謡

一猿沢ノ池ノ面ト踊フニ一水タウノト左ヲ引扇テ

アラグ事ニツシナカラ正へ出行カリ

一イフクダリトサレ廻シトヲ見テ用

○イフクダリトサレ廻シ用カズ向フへ出シマラシテ下ヲ面キ見

一セキコシトサシテ正面ヨリ上ヲ見出シテ行角トリ扇^{正高}

カサスヤウニ雨ハト右ノ上ヲサシテ見サウヨウト其扇ヲ

あつたウツケトヲウツシ面ツカヒトヲ見廻シテ踊^{ツツ}ミ

カウヨウツフシウツナリト如是
左ノ扇ヲム

一遊樂ノト左へ廻リ太前テ一戯シトト 弓へ向

一護佛乗ノ^因ト^又踊^又ハツ右ノリ 弓へ向

一ヨク吊ハセトシカト^又給^又ハヤト右廻リナカラ扇

上ヨリ左トリシテ柱ノキワニテ正へ向入ニケリト扇カエ

頭ニアテト^扇居立 返^扇立右ニ足出 踊^扇ニツフミテトメ

扇ヲ右トリ垂シタミ入 入ニケリ





